

児童文化	1年 前期・後期	演習2単位	担当教員名	尾崎律子
	卒選 幼選 保必			
授業のテーマ及び到達目標 ① テーマ： 保育実践を意識した児童文化での学習・発表体験を通して保育者としての資質向上を図る。 ② 目標 <ul style="list-style-type: none"> 児童文化に関する基礎知識を理解する。 児童文化での学習内容が子どもの発達にかかわることを理解する。 制作・発表等を主とする演習を通して基礎的な技術を習得する。 				
授業の概要 保育者としての資質向上のために、児童文化の歴史的背景などの基礎的知識を理解し、児童文化財の効果的な活用方法や児童文化は子どもの成長や発達に重要な影響を与えていることを学習する。玩具の制作、昔話の語り、絵本の読み聞かせや紙芝居の実演などを多く取り入れることにより児童文化財を身近に感じ、保育の中でより効果的な展開ができるように学んでいく。				

コマ(回)	項目	内 容
1	保育内容としての児童文化	・オリエンテーション ・人間形成と文化 ・保育内容と児童文化
2	児童文化の歴史	・近代以前・以後の児童文化の歴史
3	児童文化の国際比較	・児童文化の概念 ・世界の国々の児童観について
4	児童文化財としての絵本	・文化財としての絵本の特色 ・子どもにとって絵本とは
5		
6	子どもの発達と児童文化	・乳児の発達 ・乳児の知能の発達 ・絵本の読み聞かせ発表
7		・昔話のビデオ視聴
8		・2・3・4・5歳児の発達 ・子どもの発達と遊び文化について
9		・絵本の読み聞かせ発表 ・昔話のビデオ視聴
10	子どもの遊びと生活での児童文化①	・春の生活と遊び ・夏の生活と遊び ・わらべうた遊び
11		・絵かきうた遊び ・絵本の読み聞かせ発表
12	児童文化財としてのあやとり・折り紙等の伝承と創造	・あやとり・折り紙の遊び方と伝承 ・手遊びの伝承
13		・七夕飾り制作 ・絵本の読み聞かせ発表
14		
15	前期講義を振り返って	・前期講義のまとめ
16	児童文化財としての玩具	・玩具について ・手作り玩具の制作と生かし方
17		・玩具の制作と発表
18		
19	児童文化財としての紙芝居	・紙芝居の意義と特色 ・紙芝居の実演についての配慮・工夫
20		・紙芝居の実演
21	子どもの遊びと生活での児童文化②	・秋の生活と遊び ・冬の生活と遊び
22		・伝承遊び（けん玉・コマ・お手玉・おはじき等） ・紙芝居の実演
23		
24		
25	児童文化財としての児童文学	・児童文学とは ・児童文学における伝承（民話・童話 等）について
26		・お話の魅力と発表について ・ペープサート・パネルシアターについて
27	児童文学における伝承と創造	・ペープサート・パネルシアターの制作と発表
28		・素話の発表
29		
30	後期講義を振り返って	・後期講義のまとめ
定期試験	定期試験はなし、授業内に小テストを実施する。	
テキスト	児童文化（保育出版社）	
参考図書	必要に応じて適宜資料を配布	
教員の評価方法	授業態度（10%）、発表（60%）、制作（20%）・レポート・提出物状況（10%）の総合で評価	
準備学習等履修上の留意点	授業前の準備、テキストの次回講義内容箇所の通読と、授業後のレポートの提出	

